

1 審議会名	上田市川西公民館運営審議会
2 日 時	令和7年3月27日(木)
3 会 場	川西公民館 まちづくり拠点室
4 参 加 者	堀内重光会長、久保田照幸副会長、安田絵理子委員、酒井和彦委員
5 市側出席者	大森敏弘館長、山田愛子次長
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍 聴 者	1 人 記者 0 人
8 会議概要作成年月日	令和7年3月28日
協 議 事 項 等	

1 協議事項

(1) 令和6年度川西公民館事業等の実績について

ア 公民館事業の実施状況

イ 公民館施設の利用状況

(事務局) 2件一括 説明

(委 員) 私どもの分館では少子高齢化が上田市でもトップクラスに急速に進んでいるので、うちの分館の形が今後川西全体に広がっていくのではないかと気がします。高齢者が多く子供が少ないので、高齢者と子供たちが一緒にやるイベントに変えようとしている過渡期です。ほとんどが高齢者ですので、イベントの招待状を65歳以上に出すと90人もいます。全部で300人いるかいないかの自治会なので、参加者は1/3の30人くらいしか来ないのですが、昔と比べ年齢構成が変わってきているので、同じ対策ではいけないなというのがうちの分館の反省点です。それが川西地区全体に進んでいくのではないかと思います。でも昨年よりも公民館利用者が増えているということは非常に良いかなと思います。

(委 員) 高校生のボランティアのお話があり、他にも若者がボランティアで参加した企画もあったと思うのですが、新聞などで高校生や大学生のボランティアが地域の活動に参加するということを良く聞きます。活気があり魅力を感じるわけですが、今回の事業ではどんな形で高校生が参加してくださったのか、また来年度に向けてそこを活用してはどうかと思いました。

(委 員) 今回は小学生のお姉さんに当たる方がお手伝いに来てくださいました。子供たちと関わるのがとても好きなので、進んでお手伝いしますと声を掛けてもらっていました。春休み中にご家庭で一人で過ごす子供が多いので、今回のこの公民館の講座をきっかけに声を掛けさせていただいて、お母さん方にもボランティアを募りながら実施しました。

(委 員) 高校生の探求学習では、テーマを決めて地域に入って行って何かを一緒にやる等考えている子供が多いような気もするので、公民館という立場で声を掛けたら、もしかしたら高校も反応してくれるかなと思いました。

(事務局) 川西公民館では、小学生より上の中学生、高校生、大学生の世代の方に公民館を利用させていただくという課題があります。他にもボランティアに来ていただいた事業がありますが、直接公民館から学校への呼びかけは出来ていない状況です。他の公民館では高校生や大学生がボランティアで活動している実績がありますので、川西公民館でも、今後に向けて各学校への協力の依頼などを検討したいと思います。

(2) 令和7年度川西公民館事業について

ア 公民館の基本的な考え方

イ 公民館事業の予定

(事務局) 2件一括 説明

(委 員) 前回の審議会でもお話しましたが、例年参加させていただいている公民館まつりの「ひびけ川西の空に」に関して、指導者や子供たちに負担があり参加が難しくなる状況です。保護者のお手伝いが重なることや、緊張する場面が続くことで体調を崩す子供もおりますので、学校としては難しいという判断です。もう一つの理由は、6年生の引退のステージに向けて練習をスタートさせたい事情もあります。今までお話したような状況は変わらないということで、改めてお話しさせていただきました。

(事務局) 小学校の状況はこれまでもご相談を受けておりましたので、そういう方向で検討しております。

(3) その他

特になし